

X線・CT・MRI 画像の見方・読み方／せん妄の薬

2020年9月18日発行・発売（毎月20日発行・発売）
第40巻第11号（通巻532号）ISSN0389-8326

月刊 ナーシング

Nursing

10

2020

Vol.40 No.11

連載

日本のナースへ贈る
世界の看護

ナースが知りたい
脳のハナシ

特集1

画像の

読み解く！

見方

ケアに活かす！

読み方

今さら聞けない！

というあなたへ

特集2

ケアがスムーズに！

せん妄の
薬の使い方

Gakken

世界の看護

外国人看護師を受け入れる現場は？海外で働く日本の看護師はどう過ごしているの…？日本と海外を結ぶ看護に精通する園田友紀さんが、毎月、world wideな現場をお届けする連載です。

公益財団法人とくまや会医療院
看護部 EPA事業看護受け入れ
推進室 島根県立浜田大学大
学院公衆衛生学看護部2課程
看護科/保健師 園田友紀



ベトナムと日本の看護の違い

はじめに

日本とインドネシア、フィリピン、ベトナムの各国間で結ばれた経済連携協定(Economic Partnership Agreement, 以下EPA)による外国人看護師候補者の受け入れは2008年に始まり、現在まで1,421人の外国人看護師が来日しています¹⁾。私が働く常盤病院(福島県いわき市)では、2015年からベトナム人看護師の受け入れを行っており、現在5人の看護師と3人の看護師候補者とともに働いています。今回は彼らと一緒に働くことで見えてきたベトナムと日本の看護の違いについてご紹介したいと思います。

日本に来て驚いたことは？

「今日は看護師さんが朝から点滴や処置で忙しくて、補助者さんとおむつ交換をしました。『早く上手！ベトナムでもやっていたの？』って褒められました」そう話すのはグエン・ティ・ティエム・チャウさん(28)。今年3月、变たきりの高齢者が多い内科病棟に配属されました。急変も多く配属当初は緊張した様子でしたが、徐々に業務にも慣れてきたようです。「ベトナムでは、患者さんはほとんど若い人でしたから、日常的な身の回りのことは患者さんが自分でやっていた。注射のとき以外はすべてベッドに寝ていることはなく、病棟の周りで運動していました。そのため排泄の人はいないし、おむつ交換や食事の手伝いも必要ありません。ベトナムの看護師はおむつ交換や食事介助をやったことがありま

院内で開催されたベトナム語講座



ベトナム語を学ぶ
看護師さんたち

せん。

チャウさんは日常生活の援助を看護師が行うことに戸惑いがあるようです。

今年看護師国家試験に合格し、看護師として混合病棟に配属されたファム・ティ・トゥエットさん(29)も「日本の看護師は一日中、看護の技術を使って働き、同時に患者さんのお世話をしなければなりません。記録を精かく記載し、はっきりわかるように書きます。患者さんがナースコールを押したとき、看護師がすぐ来て、側にいて、患者さんを安心させています。でも、ベトナムでは患者さんのおむつ交換や着替え、食事、洗面、入浴のお世話は家族がやりま

カルチャーショック

日本の看護師が行う「看護」にカルチャーショックを受けるのは、ベトナム人看護士に限りません。EPAプログラムを通じて来日したインドネシア人の看護師も「注射の準備といった医療行為に慣れることができた。その代わりに、当初は想像もしていなかったような業務、たとえばおむつ交換や吸引機の手入れなどといった看護補助業務にショックを受けた。また日本で勉強し続けるモチベーションを保つのが難しくなった」という報告や、「看護師候補者のときは無資格者なので補助業務を受け入れていたが、合格し看護士になっても意識の世話が業務として含まれているのは差別的だと感じてしまう。スキルが上がらないと感じている」という報告もあります²⁾。



ベトナム語講座参加者

看護院、リハビリスタッフ、事務スタッフなど興味をもつ職種が参加し、和気あいあい！

国によって“看護業務”はさまざま

どうしてこのような認識の差が生じるのでしょうか？私たちが普段何気なく行っている「看護」ですが、実は国によって業務の定義が異なります。トゥエットさんが「看護の技術」というのは保健師助産師看護師法という「診療の補助」、つまり採血や注射、処置といった侵襲を伴う医療行為をさします。一方「患者さんのお世話は“療養上の世話”になります。ベトナムをはじめアジアでは家族が担うことが一般的です³⁾。「入院した家族を世話するのは当然だし、世話しないのは可哀想」といった家族観に加え、圧倒的な看護不足のため専門知識や技術を要する医療行為が期待されており、補助業務は資格がある看護師が行う業務ではないという考えが背景にあるようです。

教育の段階から違う？

制度

医療行為など技術重視の傾向は教育内容や資格取得の過程にも現れています。

ベトナムの看護師養成制度(図1)は日本と類似しており、高等学校卒業後に2年間の専門教育を受ける中級看護師(日本の准看護師に相当)課程と3・4年間の専門教育を受ける看護師課程があります⁴⁾。

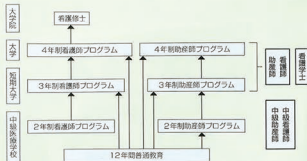


図1 ベトナムの看護養成制度

3年課程の短期大学を卒業したトゥエットさんは「大学」のとき、午前は勉強し、午後は病院で実習をしていました。そのため卒業後はだいたいの看護技術ができました。日本では看護師国家試験に合格して、資格を取得してから少しずつ看護の技術を向上させます。ベトナムには全国統一の国家試験はないですが、県によって看護技術の問う試験があります。基本的に看護技術は世界中、同じです」とベトナムと日本の看護教育について教えてくれました。

実習

浅草らの報告によると、ベトナムのある看護大学のカリキュラムは総時間に対し49%が臨床実習であり、その内容も医師の指導のもとで疾患の理解や注射・処置といった技術の習得を中心に構成されています⁴⁵⁾。加えてベトナムでは看護師を含む医療専門職者の資格認定には全国統一の国家試験はなく、資格を得るには医療従事者証明書が必要となることも多いのです。この医療従事者証明書を取得する前に、看護師として医療施設で9カ月間の臨床研修が義務付けられており、この研修修了証明書を保健省または省(日本の都道府県に該当)の保健局に提出して、やっと看護師や中級看護師の有資格者とみなされます⁴⁶⁾。

常識がガラガラと崩れていきました

学校や資格取得の過程で技術を重要視するだけあって、ベトナム人看護師候補者たちの動き方には驚かれています。

院内に掲示されるEPAニュースレター



6月14日には病院1人1人のベトナム人看護師の部屋に配布された。このようにベトナム人看護師の環境が改善されている。

テキパキと動く」と上々です。しかし食事介助の際、作業のように淡々と動く姿が気にかかることがありました。患者さんの口内にまだ残湯が残っているにもかかわらず。ある看護師候補者がスプーンを口元まで持ていき、次々と食べるよう促していたのです。後々話を聞いてみると、「[食事介助はベトナムでやったことがないから、わからない]」「ベトナムでは家族が食事を持ってきて患者さんに食べさせることもあるし、病院の食堂や病院内の近くにある屋台に患者さんが食べに行くこともある」とのこと。さすがに腎臓病や心臓病といった厳密な食事管理が必要な場合は病院食が提供されるようですが、食事も治療の一環であり、食事介助も看護の一環という私の常識はガラガラと崩れていきました。

たとえば食事では…

私たちが考える病院の食事とは、医師からカロリーなど制限食の指示があり、管理栄養士が指示のもとに献立を立て、言語聴覚士が摂食嚥下の評価を行い、看護師は患者さんのADLや認知機能に合わせて配膳や食事環境を整え、必要に応じて介助を行う、という治療方針に基づく他職種連携で提供されています。また食後の口腔ケア一つをとっても、単なる生活援助ではなく誤嚥性肺炎予防に大きく寄与することは、私にとって教科書レベルの知識です。しかし、日本人医療者にとって当たり前でも、異なる価値観のなかで教育を受け、実践してきたベトナム人看護師にとっては当たり前ではない。また彼らに重要と認識されていない、さり気ない技術や手順が医療安全や感染対策上重要であることは多々あります。



ハノイの大学病院の一般病室

奥には患者家族が控えています。カーテンがないことに驚きました。



ハノイにある大学病院のVIP向け病室

お互いの背景を考えよう

表面上の行為のみを捉え「やっぱり外国人だから、伝わらないよね」と非難し、諦めることは早しい、簡単だと思えます。しかし行為の背景に何があるのか、彼らがどんな環境で学び、働いてきたかと一緒に働く私たちが理解すること、加えて、それをふまえて専門職である看護師がエビデンスを提示して伝え、一緒に考える過程が大切だと考えています。当院では相互理解を深める一環として、ベトナム人看護師が先生となってベトナム語講座を開催したり、EPAプログラムの看護師や看護師候補者の活動を記した定期通信を発行しています。

引用・参考文献

- 厚生労働省：経済連携協定（EPA）に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者の受け入れ環境。 <https://www.mhlw.go.jp/content/000639896.pdf> (2020年7月閲覧)
- 「経済連携協定（EPA）による外国人看護師・介護福祉士候補者の受け入れに関する研究」研究班：公開論文「アジアの看護を理解しよう—2国間経済連携協定に基づき来日中のインドネシア・フィリピン看護師の受け入れ—」報告書、2012。
- Ferry Efendi, et al.: Lived experience of Indonesian nurses in Japan: A phenomenological study. *Jpn J Nurs Sci*, 13 (2): 284-293, 2016。
- 小林松恵子ほか：ベトナムにおける保健医療および看護の現状。香川県立保健医療大学雑誌。7: 27-34, 2016。
- 浅草由子ほか：ベトナムにおける看護教育の現状と看護師の役割—看護大学での調査より—。全大医保つるま保健学会誌。38 (2): 39-43, 2014。
- 国際労働機構（IICA）：ベトナムの高齢化社会保障の観点から。News FROM ベトナム事務所。129: 1-7, 2019。 <https://www.jica.go.jp/vietnam/office/others/ku5p7ku00000g86de-att/montny1906.pdf> (2020年7月閲覧)

ご質問・ご意見募集！

連絡先: Mail: sonoday02@gmail.com Twitter: sonoday3
Twitterでハッシュタグ #世界の看護 をつけて投稿やご意見、ご質問など聞かせて下さい！記事でのご紹介する際には、メールもしくはDM（ダイレクトメッセージ）にてご連絡いたします。

これからきっと

先月発行した当院の定期通信「EPAニュースレター」では、グエン・ティ・グエンさん(28)がこんなコメントを寄せました。「ベトナムでは患者さんが入院しているとき、家族は仕事をしながら病院に通って患者さんのお世話をして、とても大変だと思います。日本の方が在宅看護など家族へのサポートが発達しています。大会はハノイで一人っ子として育った彼女は、日本の在宅看護に関心があるようです。経済成長が著しく急速に環境の変化が起きている国というイメージが強いベトナムですが、2017年には高齢者人口比率が7%を超え高齢化社会へ突入しています⁴⁹⁾。現在はV.I.P.のみに提供されている完全看護が求められ、日本で学んだ彼らが高齢者ケアを担う、そんな未来も遠くはないかもしれません。

連載の予定

2020年	連載の予定
10月号	ベトナムと日本の医療の現状
11月号	ベトナム看護師が日本の医療で働く様子
12月号	ベトナム看護師が日本の医療で働く様子(続)
2021年	ベトナム看護師が日本の医療で働く様子(続)
1月号	ベトナム看護師が日本の医療で働く様子(続)
2月号	ベトナム看護師が日本の医療で働く様子(続)
3月号	ベトナム看護師が日本の医療で働く様子(続)